

1 入学式

春爛漫の言葉通り、校門の桜をはじめ様々な花が咲き、新緑が鮮やかで、すべての命が輝く4月8日に令和7年度希望が丘高等特別支援学校第35回入学式が行われました。

入学式に当たり、新入生に向けて二つのことをお話ししました。

一つ目。本校の校名、そして、校訓の一つである「希望」についてです。皆さんの希望は何ですか。本校に入学してどのような自分になりたいと思っていますか。こうなりたいという具体的な希望や夢は、簡単に見つけられるものではありません。具体的な希望や夢は、自分で探し続け行動してみて、少しずつ少しずつ描けるようになるもの。希望が丘高等特別支援学校での様々な学習や学校行事、部活動等で、好きなこと、得意なこと、夢中になれることを見つけて力を注いでください。その中で自分らしい自分の希望や夢を描いてください。先生方は全力で皆さんを応援します。

二つ目は「自分を大切にしてほしい」ということです。よく食べて、よく寝て、よく体を動かすことは心と体の健康にとっても大切なことです。いつ寝て、いつ起きて、何を食べて、どのように体を動かすのか、たまったストレスをどのように解消するのか、これらは、自分で決めて実行することができます。生活リズムを自ら整え元気に笑顔で毎日の生活を送る力を身につけてほしいと思います。自分を大切に。健康第一です。

新入生にとって期待と不安、そして緊張の一日だったことでしょう。これから新入生がどのように自分らしい夢を描くのかとても楽しみです。

2 校訓と校歌

入学式の新入生代表宣誓で代表の生徒が「私たちは、これから“忍耐、錬達、希望”の校訓の趣旨にのっとり、立派な社会人、職業人になるよう学校生活を全うすることを誓います。」と宣誓の言葉を述べました。

「忍耐、錬達、希望」の校訓について、初代校長、永石直先生は、「生徒たちに必要なのは、目標に邁進する忍耐力、めざす仕事をやり抜くよう鍛錬し、根気や気力を育て、そこへ達すれば、将来への希望が見えてくる。」と述べていらっしゃいます。そして様々な機会に声高らかに歌われる「校歌」に、校訓の三つの思いを巡らせて作詞されたそうです。

1番「～^{たえ}忍耐える心を学ぼうよ～」、2番「～^{たくみ}錬達の技を磨こうよ～」、3番「～^{のぞみ}理想をいだきはばたこう～」

希望が丘高等特別支援学校の伝統ある校訓を胸に、生徒一人一人の学校生活が充実したものになることを願っています。